

スマホ連動運賃メーター

電子的封印 アフロ社が試作品

情報通信技術(ICT)の見本市「CeBIT(セビット)2017」(3月20～24日、ドイツ・ハンノーバー)の記者発表会が15日、東京都内であり、システム開発・技術支援サービスの

アフロ(港区)が、スマートフォンを連動させたタクシー運賃メーターの試作品を披露した。増井浩二社長は「来年早々に商品化した。運賃変更の際、改修の



試作のメーターシステム。スマホに額が表示される。下にあるのが信号処理装置(15日)

手数料を取らない仕組みになる」と述べた。

試作品はタリフ定数(運賃演算表)を管理するデータセンターや、専用回線でつながったメーター部分がほぼ完成。計量検定などが残されている。発表会ではノートパソコン上のタクシー会社用管理画面と接続し、スマホに表示した運賃額を一括して変更してみせた。

ドイツでの商談会に向け、増井社長は「計量器の規格は世界中にあり『電子的封印』の概念を広めたい。一番分かりやすいのがタクシーメーターだと思つ」と語った。

タクシメーター改修の電子的方法をめぐっては昨年、アフロ社が経済産業省に「グリーンゾーン解消制度」に基づき、無線通信での適否を照会。同省が取り扱いを明確した経緯がある。